

さくらオーバルフォート



熊谷ラグビー場Aグラウンドと同じティフトン芝を使用したグラウンドには4基のナイター用LED投光器が設置されている

スポーツ観光都市熊谷におけるラグビー文化発信拠点

2021年9月、熊谷スポーツ文化公園内にラグビーを中心とした国内初の複合施設「さくらオーバルフォート」がオープンした。ここは1967年の埼玉国体でラグビー会場となった場所で、1991年に熊谷市は総合振興計画で「ラグビータウン熊谷」を表明。それ以降、熊谷市はラグビーを通じたまち

づくりを推進している。2004年には2度目の埼玉国体が開催され、県営熊谷スポーツ文化公園のラグビー場と陸上競技場がメイン会場となった。その後、県民・市民が一体となったワールドカップ2019の招致活動が行われ、開催が決定。埼玉県によって約24,000席を有するラグビー場が新たに整備されることとなった。このワールドカップのレガシーを有効に

生かすために埼玉県、熊谷市、埼玉県ラグビーフットボール協会、そしてここに本拠地移転を計画していた埼玉パナソニックワイルドナイツが連携して実現したのが「さくらオーバルフォート」。ワールドカップ2019の会場となった熊谷ラグビー場に隣接したこの場所で、公園の一部に施設を設置するとともにエリア全体の管理を行う許可を埼玉県から受けて、待望の施設は誕生した。

ここには管理棟、グラウンド、屋内運動場、宿泊棟が整備されており、子どもラグビー教室の拠点にすることも計画されている。さらに、近くには駅とスタジアムのアクセスを考えた「ワイルドナイツサイクルステーション & カフェ」が開業し、整形外科「スポーツクリニック（仮称）」も計画されており、この施設が世界に発信できるラグビーパークとなることが熱望されている。



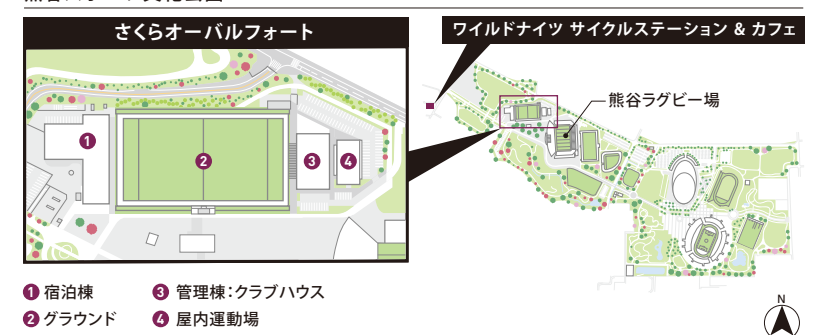
(上) ワイルドナイツのクラブハウスがある管理棟、1階手前はカフェレストラン「フォルテ プル」、右に屋内運動場が見える
(下) 最大264名が宿泊できる熊谷スポーツホテル「パークウィング」のある宿泊棟、1階左は「ワイルドナイツチームストア」

熊谷市・埼玉県・埼玉県ラグビーフットボール協会・地元の商工会と当社が一体となったスポーツ観光都市を創り出す取り組みが、インタビューを交えた動画でご覧いただけます。

ラグビーでつながる「さくらオーバルフォート」➡



熊谷スポーツ文化公園





ラグビーの楽しさを共有できる 国内初の多機能スポーツ施設

「さくらオーバルフォート」はワイルドナイツが練習に使用するグラウンドと屋内運動場に加え、管理棟と宿泊棟で形成されている。管理棟には、ワイルドナイツのクラブハウス、埼玉県ラグビーフットボール協会の事務所、1階にはカフェレストランが入居。宿泊棟には、熊谷スポーツホテル「パークウイング」や女子ラグビーチームの事務所、チームオフィシャルグッズを販売するショップなどが入居している。

埼玉パナソニックワイルドナイツのゼネラルマネジャー飯島 均氏は「ラグビーは年間8試合と試合数が限られているため、年間365日ファンに来ていただけるように普段の練習が見える計画とした。本来、サインや戦術など、チーム練習は見せたくないものも多い。しかしここでは、トップチームの練習場のすぐそばで、蹴ったボールが飛んでくるという距離に宿泊施設やレストランを設け、選手が汗を流して練習していたり、食事をしている日常を間近で感じることができる。旭山動物園ではないが、トップスポーツの行動展示だ。現在の世界はバーチャルが最先端として広がっているが、スポーツ施設はリアルの中心にある社交場。このような場所に市民・県民だけでなく、国内外の人たちが集って交流を深めてほしい」と語る。今後は、この施設が核となり、周辺の整備と合わせて、スポーツ観光都市熊谷がさらに発展することが期待されている。



さくらオーバルフォート

所在地／埼玉県熊谷市上川上
事業主／一般社団法人埼玉ラグビーフットボール協会
設計監理／パナソニックホームズアライ設計 共同企業体
施工／パナソニックホームズ株式会社
竣工／管理棟：2021年7月 宿泊棟：2021年8月



治療に適した照明環境の管理棟メディカルルーム



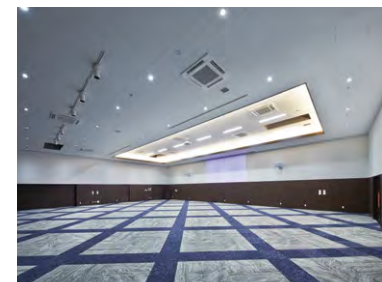
建築化照明でリラックスできる環境のチームルーム



管理棟1階のカフェレストラン「フォルテ プル」



内装建材「ベリティス」が採用された宿泊棟スイートルーム



調光装置を装備した宿泊棟の宴会場



天井材「エアライト」が採用された宿泊棟多目的室

主な納入設備

- LED投光器 スタジアムビーム
- LED照明器具
- ビルマルチパッケージエアコン
- 液晶方式レーザープロジェクター
- 音響システム
- セキュリティシステム
- 天井材「エアライト」
- 内装建材「ベリティス」
- 全自動おそうじトイレ「アラウノ」
- 太陽光発電システム

- ◀ (上) ラインアウトの練習も可能な最大高8mの
屋内運動場(延床面積:684m²)
(下) 全長30m2層吹き抜けのトレーニングルーム

ワイルドナイツサイクルステーション&カフェ



熊谷駅から熊谷ラグビー場まで、4kmあるアクセスのために設けられたサイクルステーション。ワイルドナイツブルーに塗装された電動アシスト自転車を100台整備し、市内10カ所に配置している。パブリックビューイングが提供できるカフェも併設している。



主な納入設備

- 電動アシスト自転車
- LED照明器具
- エアコン
- 全自動おそうじトイレ「アラウノ」

ウェブサイトでも
ご覧いただけます

